

住民ワークショップの進め方

1. 第3回住民ワークショップのテーマ

テーマその1:教育と文化、生涯学習の「まちづくり目標」について考える

〈趣旨と内容〉

- 南風原町の将来像「ともにつくる黄金南風の平和郷」を実現するために、分野ごとの「まちづくり目標」と「まちづくり目標を達成するための柱」について考えます。
- 第1回・第2回で漏れていた内容などを中心に話し合います。
- 参考資料として、資料3住民ワークショップ提案書(案)を活用してください。

テーマその2:教育と文化、生涯学習の「衆目評価」を行う

〈趣旨と内容〉

- これまで検討してきた分野ごとの「まちづくり目標」について、衆目評価(投票)を行い、ご意見の重要度を見える化します。



- 今後の検討組織であるワーキングチーム、策定委員会、審議会等の会議の基礎資料となります。

2. 住民ワークショップの進め方

- 会議全体の進行は、ファシリテーターが行います。(全体運営、アドバイス、時間管理等)
- グループごとの進行はグループリーダーが行います。
- 意見が出にくい、内容理解に対する質問、図解作成の効率化を図るために、各グループにアドバイザーを配置します。

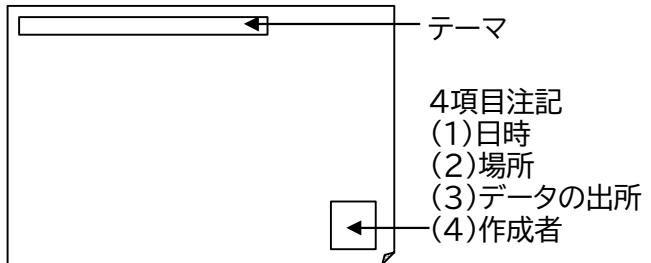
ワークショップを進める上のルール

- ①意見、提案は質より量を求めましょう。
- ②相手の意見を批判せず、建設的な意見交換の場としましょう。
- ③立場や肩書に関係なく参加し、自由に意見を出しましょう。
- ④言わなかった意見でもどんどん付箋に書いて出しましょう。
- ⑤ワイワイガヤガヤの自由な雰囲気で進めましょう。

ステップ1

自己紹介とグループ編成

- ①今回初参加の方の自己紹介をする。
- ②リーダー(進行役)を決める。
- ③第2回ワークショップの模造紙を活用する。



ステップ2

テーマその1:「まちづくり目標」についての意見交換

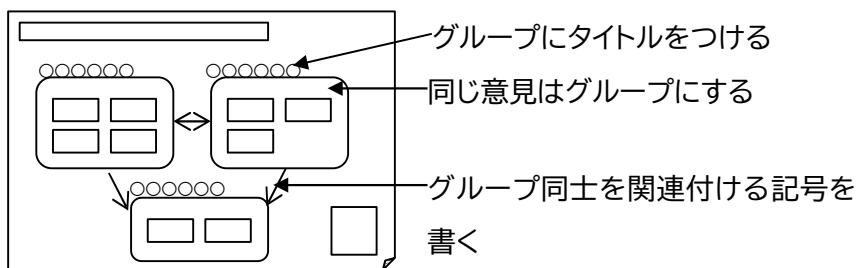
- ①分野ごとの「まちづくり目標」について意見を交換する。
例)10年後の南風原町がどんなまちになっていたら嬉しいか。
●●●というキーワードを入れた方が良い。など
- ②自分が発言した意見・提案を付箋に書く。(一つの項目に対して1枚)
ラベルの見本(おおむね40字以内を目途)

○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○を実践することが
重要である。
(A. A)



ステップ3

- ①参加者が交替で自分が書いた意見(ラベル/付箋)を1枚ずつ読み上げ、模造紙に貼る。他の人は、読み上げたラベルと同じ意見があった場合は、読み上げて提出し、グルーピングを行う。
- ②全てのラベルを読み上げとグルーピングが完了したら、島取りをし、島ごとに表題をつける。
- ③島と島との関係線や文字を書き込み、全体像が分かるようにする。



ステップ4

各班発表、情報の共有

- ①班ごとに発表者を決める。(最初の段階で決めておくと発表しやすい。)
- ②発表内容を決める。
- ③図解見えるところに張り、結果を発表する。(各班5分程度)
- ④質問を受ける。

ステップ5

テーマその2:衆目評価(投票)

- ①丸シールを5枚ずつ受け取る。
- ②自分が気に入った「まちづくり目標」や、重要なと思う意見に投票する。
- ③投票結果を集計する。

投票時のルール

- ①自分の班の意見に投票してもOK
- ②同じ意見に5枚投票してもOK
- ③分散して投票してもOK

例)A という意見に3枚、B という意見に1枚、C という意見に1枚貼る

